

グループ発表の内容（第4回絆研修② 令和元年9月29日）

◇グループワーク①

現状の問題点とその対策について。

・家族の意思確認を一番にした上でどのようにサービスの見直しを行うか。介護度4の範囲でサービスを増やす、ヘルパーを入れる、週末のショートステイの活用、妻の負担軽減も考慮し福祉用具の見直し、体重減少しているのでエアマットに変える必要があるのではないか等。

・食事量の低下や誤嚥性肺炎のリスクがあるため、今は柔らかく食を食べておられるが、食形態の見直しを行う。例えば大きさの工夫、増粘剤の活用、補助食品を利用したり、食品と薬剤の処方でもらえる補助食品もあるので、こういったものが本人に合うのかを考え工夫する。また、奥さんが料理を作っているのであればスーパーやドラッグストアで購入できる補助食品の利用、配食サービスの利用することも良いのではないかな。

（栄養士会より）地域で活動できる管理栄養士が少ない。栄養士会会員のいる病院について、食形態の名称がそれぞれ異なっていたため「学会分類2013」にあわせた食形態一覧の見直しを昨年度と今年度継続して行っている。標準化された名称一覧は完成したので、今後は視覚的に確認できるよう写真を取り入れたい。医療機関だけでなく福祉施設やデイサービスなど食事を提供している事業所にも情報共有を行いたい。会員がいるところばかりではないためどのように行うかが課題ではあるが、地域のみなさんが安心して食事を食べる事が出来るよう、情報共有できるツールがこういった研修会や何かの場で広まればよいと思っている。

・本人の希望を聞き、家族と話し合う。今後の方向性について、まずは現状を把握し、今後予測されること、家族への理解を得る。在宅療養でどこまでできるのか、救急対策についても共有しておく。妻のストレス軽減、経済的問題（どこまで負担できるかケアマネと話し合う）、ADL低下に伴い家庭内で移動できる範囲（福祉用具の活用、自主トレーニングなど）、骨折をしない対策を行う。

・嚥下機能低下のため、服薬管理が継続できない可能性があるため、胃ろう増設を検討する。介護サービスでインフォーマルサービスを利用できるかケアマネと相談する。配食サービスの検討や土曜日のみサービス介入がないようなのでサービス利用を増やす。

・本人と妻の気持ちを尊重し、今後どうしていくか話し合う。本人のイライラで妻も本人に対して苛立つことがあるようなので、このまま介護負担が続くと虐待になってくるのではということも頭にいれておく必要がある。今後のサービスとしては、訪問看護を増やす。それにより身体面の状況把握だけでなく妻は不安事を看護師に相談できる。反面、家に来る在宅の方が増えると、妻は気を使ってしまうのではないかな。それに対して妻がどう思っているかの確認も必要。

◇グループワーク②

将来、事故や病気などで身の回りの事（食べることも含め）ができなくなり、自分の考えを伝えられなくなった時に、あなたならどのようにしてほしいですか？。

・自分なら家族に負担にならないようにしてほしい。食べることが好きなので胃ろうや経鼻は不要。痛みや苦痛はとってほしい。家族へ前もって自分の思いを伝えている方も多かった。

・今は延命治療を望まないが家族へ伝えており代理意思決定者も決めているが、子どもが大きくなったら子供に託したいと考えている。

・身の回りの事ができなくなったら信頼できる人に介護してほしい。自分の思いや性格をくみ取って対応してほしい、元気になった時と病気になった時で気持ちも変わるので、元気な時に話をしておくことが大事。タイミングとしてはテレビでそういった話がでたときとか。

・何もしてほしくないが日頃からエンディングノートに記載している。ノートに指示を細かく記載しているが、延命しない自然なかたちでとなったときに医療者と一般でかたち（理解度？）が違うので、医療者・一般で分かり易いノートで意見を残して行ければ。

大切なご家族がこのようになった場合、どのようにしてあげたいですか？

・自分なら延命は希望しないが、子どもについては出来る限りのことをしてあげたい。自分が可能な範囲で家族の介護をしたい。家族の事前指示があればその希望を尊重したい。

・事前指示書に、家族が延命せずさいごまで家で過ごしたい。と書いてあり、それに沿ってなるべく見てあげたいという思い。

・身内であれば性格的に判断できると思う。自分より上の年齢なら終末期に向かって行く過程で自然なかたちで逝かしてあげたい。子どもであれば長生きしてほしい。急変時に呼吸器や点滴がついた状況になるとやめどきが分からない。もういいですと言ったら自分たちが手を下したことになり後悔するのではないか。

・家族と普段から話し合っておこうとなったとき、では普段とはいつなのか？という疑問系で終わってしまった。